

表3 国際ワークショップ等

名 称	開催期間	開催地・主催・共催	備 考
The second Pacific bluefin tuna management strategy evaluation workshop (第2回ISC太平洋クロマグロMSEワークショップ)	19/05/20～ 19/05/21	開催：ラホヤ(米国) 主催：ISC 議長：中塚周哉(国際水研)、Mark Maunder (IATTC)	日本、米国、韓国、台湾、メキシコのステーキホルダー ー約70名
Technical Workshop on IUU Fishing Studies (IUU漁業研究に関する技術ワークショップ)	19/05/29～ 19/05/31	開催：Google 東京本社 共催：グローバル・フィッシング・ウォッチ、ANCORS、水産研究・教育機構	出席人数：50名
日台研究協力意見交換会及び水産研究シンポジウム	19/06/03～ 19/06/04	開催：横浜市 主催：水産研究・教育機構 共催：行政院農業委員会漁業署	日本のべ20名、 台湾のべ16名
The 25th Joint International Symposium between NFU and PKN (第25回水産大学校－釜慶大学校学術交流会)	19/09/24	開催：釜山、韓国 主催：釜慶大学校 共催：水産大学校	日本11名、韓国50名
Joint Scientific Committee Meeting of the US Japan Living Marine Resources Bilateral (海洋生物資源に関する日米合同科学委員会)	19/09/26～ 19/09/27	開催：横浜市 主催：水産研究・教育機構 共催：米国海洋大気庁	日本のべ19名、 米国のべ8名
47th UJNR Aquaculture Panel Scientific Symposium (天然資源の開発利用に関する日米会議水産増養殖専門部会第47回科学シンポジウム)	19/11/12～ 19/11/13	開催：沖縄県那覇市 主催：水産研究・教育機構 共催：米国海洋大気庁	日本17名、米国9名
国際水圏メタゲノムシンポジウム2019	19/11/23～ 19/11/24	開催：北里大学、東京都 主催：北里大学 共催：水産研究・教育機構 アブドラ国王科学技術大学 国立遺伝学研究所	日本、米国、英国、イタリアなど122名
第16回日中韓大型クラゲ国際ワークショップ	19/12/03～ 19/12/05	開催：韓国 釜山市 主催：韓国国立水産科学院 共催：水産研究・教育機構 中国水産科学研究院	日本16名、韓国7名、中国8名
The 6th Joint Internal Symposium between SHOU and NFU (第6回上海海洋大学－水産大学校学術交流会)	19/12/12	開催：上海海洋大学 主催：上海海洋大学 共催：水産大学校	MOU更新に伴う調印式 日本9名、中国30名
北太平洋まぐろ類国際科学委員会くろまぐろ作業部会	20/03/02～ 20/03/12	開催：国際水研清水庁舎 主催：International Scientific Committee for Tuna and Tuna-like Species in the North Pacific Ocean (ISC)	米国3名、台湾1名、韓国3名、メキシコ1名、日本人8名(合計16名)